

昭和36年

6月号

【才56号】

発行所
狩太町役場

発行日
昭和36年6月15日発行

とぶかり広報

完納で築いて
誇れ我が郷土
納税をすませて
今日も晴仕事

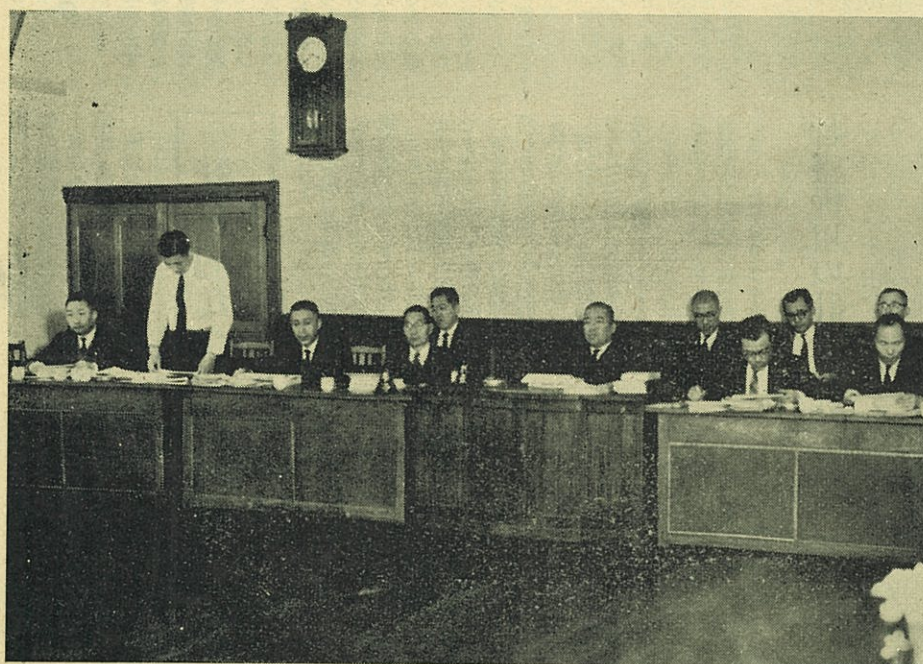
追加更正予算

八千二百二十七千円余

四百二十万三千円余追加



第4回狩太町議会（臨時会）は
5月30日議事堂において開催
されました。



議件は……
一、昭和三十六年度狩太町
歳入歳出追加予算
二、昭和三十六年度狩太町
国民健康保険特別会計歳
入歳出追加予算
三、昭和三十六年度狩太町
簡易水道事業特別会計歳

入歳出追加更正予算
四、住宅売払処分について
外、報告議件一件を上程
せられ、原案どおり可決せ
られました。
（一般会計）
予算総額
八千二百二十七千円
追加更正せられました主
なるものは
◎土木費 100,000円
道路橋梁費（負担金補助
及交付金）として道々改
良補装工事促進期成会に
助成するもの。
◎教育費 六〇,〇〇〇円
需要費 四〇,〇〇〇円
営繕費 一〇,〇〇〇円
◎産業経済費

三三二,〇〇〇円
農業振興費として
現在町内には無点燈部落
が実在する現状にかんが
み、昨年度より実施せら
れました。農村電気導入
事業を実施することにな
り、国の補助、融資と併
せて町も補助、自己負担
金と合せて実施するもの
◎財産費 一、三三〇,〇〇〇円
王子製紙（株）尻別発電
所の職員住宅の払下げに
より、市街地へ移築工事
費その他に充てるもの
となっており、
外、報告、一件を議決せ
られて、午後四時三十分
閉会されました。

消防連合演習

七ヶ町村参加のもとに

北海道消防協会倶知安地
方支部では、狩太町におい
て、六月十三日午前九時を
期して、一署六消防団（倶
知安、京極、喜茂別、留寿
都、真狩、蘭越、狩太）参
加の自動車ポンプ八台、そ
れに自衛隊倶知安駐とん部
隊の隊員など約百五十人が
参加して行われました。
午前九時、サイレンの合
図で狩太小中学校グラウンド

に全員が整列、機械器具点
検の後、各町村によるポン
プ操作が行われました。
続いて市街出火想定場所に
於て、模擬演習が行われ
後、駅前、中央通にかけて
いっせい放水を行ない、正
午からは、駅前より会場ま
で力強い分列行進（市内パ
レード）を行ない、町民の
盛んな拍手の中に演習の最
後を飾りました。



国旗をたてる運動に 御協力下さい。

私達の愛する北海道を明るく住みよい郷土につくりあげてゆく運動の一環として国旗を正しくにし、正しく揚げることを願う団体が集まり道などの後援によつて左記趣意書のもとに国旗をたてる運動が展開されております。町民のみならず、何卒御協力下さい。

趣意書

こんにちの日本は、あらゆる部門にわたつて国力を高めてきました。その中にある日丸の旗ばかりが国民から忘れ去られていく感を感じるのはどうしたことでしようか。世界の独立国には、かならず国旗があり、国歌があります。日丸の旗は、かならず日本の国旗です。私達は独立国家の誇りと自信をもつて国旗をあげ、この旗を高く掲げたいのです。国旗と軍国思想を結びつけて、とかく反対もききませんが、私どもはもつと、すなおな心で日丸を見つめてもよいところまで、日本の民主主義は成長したと思つております。いまさら、国旗をたてる運動などという事は、私たちが自身を侮辱したかのようにも考えられますが、私たちが歪められた現状をあらためるため、この運動を展開しなければなりません。このように考え、この旗のもとに明るく平和な北海道建設につとめたいとの願いが趣意であります。

北海道新生活運動委員会内

国旗をたてる運動

今月は……税金の納期↑↑

◆国民健康保険税 二十五日まで
◆町民税 税

そろつて納期まで完納しましょう。

家畜とビタミン

すべて動物は蛋白質、脂肪炭水化物、無機物の四栄養素及び水分を適量にとつておれば、短期間は満足な生活を送ることが出来るが遂には種々の栄養障害を起して、成長が止まり病弱になり、或は繁殖不能となる。これを防ぐには微量ではあるが、生理作用の調節上必要欠くことが出来ず、而し動物の体内で合成することの困難な種々の有機成分をとらなければならぬ。これ等の成分を一括してビタミン類と名付けている。ビタミンに類似し且つ密接な関係のあるものにホルモンと酵素があるが、これらは栄養の充分な健康体では体内組織内で自由に合成し分泌されるから体外から必要はないが、ビタミンは体内合成が困難であるので動物を飼育する場合、飼料として与えるか或は飼料に添加して与えるかしないかと正常な生理機能を営むことが出来なくなつて来る。特に北海道のような寒地では冬期間は、緑餌が不足し紫外線照射の機会も少ないので、特にビタミンの給与には留意する必要がある。

①ビタミンA
性質のためか、脂肪と共存することが多く、古くから「抗夜盲症ビタミン」とか「養育ビタミン」とか言われて来たものであつて、これが不足すると、仔牛では発育成長がおくれ、下痢等を起し、雌でも発育成長がおくると共に皮肢が軟弱になり、「カゼ」や「ジフテリア」に犯され易くなる。成牛では不受胎の要因となり、成鶏では産卵低下とか種卵では受精率、孵化率低下の因となり、これらビタミンA欠乏の種卵より孵化した雛は著しく体質が脆弱である。

②ビタミンB群
これはB1から初まつてB12までであるが、特に大切なものはB1、B2、B12である。B1は米糠、フスマ、緑餌穀物に多く含まれ、我が国の一般の飼料では普通は不足することはない。B2はリボフラミンと言はれるもので、サナギ、魚粉、アラ緑餌、芽在等に多く含まれる。牛の様な反すう類では第一、胃で細菌により合成されるので、欠乏症の心配はないが、雌で欠乏症になると成長が悪くなり、脚弱になり成鶏では産卵が著しく低下すると共に孵化率も低下する。B12はアラ肝臓等に多く含まれ欠乏するとB2欠乏と類似の症状が現はれる。

③ビタミンC
アスコルビン酸とも言われ抗壞血病性ビタミンとして有名である。家畜では体内で合成されるので、必要度は少ない。

④ビタミンD
これはカルシウムやリンが家畜に充分利用されるために必要なものである。ビタミンDは常にAと共存している。即ちビタミンAあるところ必ずDありと言つても差支えない。例えば肝油、魚の内臓をして緑餌みなりである。Dは元来、日光の紫外線と同様な生理作用をするために、日光の代用品と呼んでも良く特に北海道の様な紫外線の不足な冬期に於いては重視すべきもの、代表的存在である。カルシウムやリンの供給が充分でもDが不足すると健全な骨格は形成されないので、これが不足するとケル病等の骨の病弱となり、成牛では二等乳、繁殖障害等の原因となり、鶏では軟卵、産卵率や孵化率低下の原因となり又胸骨は軟化する。従つて家畜を日光浴させて、直射日光にあつるとDの不足は起らないが、ガラスを通した光線では紫外線がガラスに吸収されて効果はない。

⑤ビタミンE
これは生殖ビタミンと言つても良い。小麦、トウモロコシの芽、芽在等の穀類類チサ、緑餌、牧草等の緑餌類に多く含まれていて、これが著しく不足すると牛では繁殖障害、鶏では産卵率が低下するばかりか、孵化率も甚だしく低くなり生れた雛も又弱い。出来る限り留意してやり度いもの一つである。

